

2008年9月5日

施工管理業務の質向上と効率化を図る 施工管理データベースシステム『C-Sight』を構築・展開

㈱長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：岩尾 崇）は、作業所における施工管理業務の質の向上と効率化を図るため、施工管理データベースシステム『C-Sight（Construction-Sight）』を構築し、作業所での採用を開始しました。

『C-Sight』は、本社と各作業所を繋ぐネットワークシステムで、各作業所のパソコンから、所員だけでなく、協力会社の職長も簡易な操作で必要事項を入力でき、入力された情報は本社側のデータベースで一元管理されます。

これにより、作業所においては、所員が日々作成する安全書類（作業打合せ記録書）等が自動作成され、業務省力化を図ることが出来ます。また、場内パトロールによる安全指示・是正状況の進捗をパソコン上で登録・確認し、安全管理の徹底も図ることが出来ます。

一方、本社においては、全作業所の出面を随時確認でき、労務確保に向けた迅速な対応が可能となります。また、作業所の安全記録も随時確認でき、状況に応じて迅速な指示が可能になります。

協力会社においては、各作業所で自社の作業実績の確認が可能になります。

首都圏、関西圏共に新規着工作業所から導入を開始しました。今後『C-Sight』の機能を拡張し、協力会社の協力の元、施工管理業務の更なる向上を目指してまいります。



[協力会社の職長が入力している様子]

【導入の効果】

〈長谷エコーポレーション本社：社員〉

安全管理機能向上

- 各作業所の安全記録を本社で随時確認可

労務管理機能向上

- 各作業所の出面・歩掛りを本社で随時確認可

〈作業所：所員〉

所員の業務省力化

- 作業打合せ記録書等の作成・集計作業の自動化

安全管理機能向上

- 安全指示・是正状況進捗の登録・確認

〈作業所：協力会社職長〉

利便性向上

- 自社の作業実績を随時確認可

【概念図】

